

翻訳WG 設立趣意書

2021年8月3日

諸角 昌宏

本書は、CSA 本部が公開する様々な資料の日本語翻訳をドライブする目的のタスクフォースを、より翻訳プロセスそのものを改善していくことを目的として「翻訳WG」として設立することを提案します。本件について、運営委員会での議論および結論をお願いします。

1. 経緯

翻訳タスクフォースは、CSA 本部が提供する資料の翻訳を目的として、翻訳者をボランティアとして募り、翻訳を行い公開するという方法で進めてきた。このボランティア方式による翻訳は、公開資料の数および翻訳ボランティアに参加していただける人数の面からも、効果的に機能していると判断できる状況で、翻訳タスクフォースとして十分な成果を出していると考えている。今回、翻訳タスクフォースを発展させ、さらに翻訳プロセスそのものを検討するWGを設立し、より効率的、効果的な翻訳が行えるようにしていきたい。

また、本WGには、幅広く参加者を募集していきたい。

2. 方針

翻訳WGでは、以下のことを決定し活動を行う：

① 翻訳タスクフォースの継続

- CSA 本部が公開する資料のうち、どの資料を翻訳するか決定
- 翻訳を行うにあたって、CSA ジャパン会員よりボランティアを募る
- 翻訳作業、スケジュール管理、翻訳版公開の一連の作業をドライブする
- 経費が発生する場合やそのほかの運営委員会の判断が必要な状況が発生した場合には、翻訳タスクフォースより運営委員会に議案を上げる

② 翻訳WGとしての新たな取り組み

- 機械翻訳機能の利用の検討
- 翻訳差分機能の利用の検討（英語版の前のバージョンからの変更と翻訳の変更を管理できるツール）
- 訳語集の作成
- 既存翻訳資料の見直し（各WGとの連携あり）

3. その他

- ① 他団体から翻訳の要請あるいは支援要請があった場合の対応には、本WGを窓口として対応する。

4. 人員、メンバー

- ① 翻訳WGのWGリーダー
 - リーダー： 松浦 一郎
 - 事務局： 諸角昌宏
- ② 翻訳WGメンバー
 - WG開始に合わせて会員から募集

以上